

新たなビジネス事例

印刷イノベーション最前線！

このニュースレターでは、優れた印刷事例や、印刷以外の分野での先進的な取り組みをコンパクトにお届けします。

地域活性化のアイデア企画例

カプセルトイ「ごとっちゃ®」を企画し ご当地を盛り上げる

有限会社アサヒ印刷（青森県弘前市）

商業印刷、事務用印刷から紙以外のアクリル・木材・衣服、布へのデジタル捺染によるガーメント等への印刷物を主体に、業態転換をしてきた有限会社アサヒ印刷（青森県弘前市青樹町3-6、代表取締役 漆澤 知昭）は、ご当地の魅力を詰めたカプセルトイの「ごとっちゃ®」で地域を盛り上げている。

「ごとっちゃ®」は、取引先のイトーヨーカドー弘前店から地元を盛り上げるための施策に対して相談を受けて、ご当地のカプセルトイを開発することで誕生した。地元民に親しまれているソウルフードや地元の景色、乗り物などをモチーフにしたアクリル商品を作ることにしたのである。ご当地を盛り上げるために、同社が一貫して商品、説明書、台紙を提供し、地域の仲介会社に仲介を依頼。ご当地を盛り上げるのはご当地といったことを念頭に置いて、ご当地カプセルトイ事業を推進すると共に「ごとっちゃ®」を商標登録した。

顧客と打ち合わせをしてデザインデータを作成し、OKとなればグッズを製造。カプセル詰めは基本的に顧客が行い、より当事者として参加できることを意識して納品するという流れだ。

企業の場合は、地元のイトーヨーカドーに設置しているスキームとしての「ごとっちゃ®」を、地域の企業がコン

テンツとしてイトーヨーカドー各店の看板と上手に協働して、地域の中核的存在として活躍できるきっかけにしていくことを掲げている。

自治体・官公庁の場合は、公金を投入したが使わなくなったアクリルパーティションや備品の再活用としてもお悩みの問題解決と広報、PRの同時解決策を具体的に示すものになっている。

現在「ごとっちゃ®」は、イトーヨーカドーの全国81店舗で220台以上設置し、各店独自のカプセルトイを展開している他、弘前市役所庁舎に8台、青森山田学園キャラバンに2台、CiiNACiiNa弘前店内に50台、マエダ本店・マエダストア6店舗に7台を設置している。今後さらに地元を盛り上げたい有志を募り全国各地へ拡大していく考えである。



「ごとっちゃ®」のカプセルに入れるサンプル商品